

事務事業名	学校図書活動充実事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	義務教育グループ	課長名 板持 徳生
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	大谷 美里	電話番号 0854-40-1072 (内線) 2282
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		
	基本事業	〈076〉すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進		予算科目	0:150:0:2 -1:0:-1	小(中)教育振興事業 学校図書活動充実事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習意欲が高まる。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童生徒 教職員	読書をする時間の拡大
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H21 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	鳥根県が実施する「学校司書等による学びのサポート事業」により、市内小中学校に学校司書 12校、学校図書館支援員 10校 に配置し、人がいる図書館づくりを行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・市内小中学校に学校司書・学校図書館支援員を配置。 ・学校図書購入	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 学校からの要望をもとに、学校司書配置校を増やしている。 令和3年度より県の事業が、学びのサポート事業に変更され、学校司書に求められる役割も増えている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
一人あたりの年間平均貸し出し冊数(小学校)	冊	66.8	72.9	66.3	70.0
一人あたりの年間平均貸し出し冊数(中学校)	冊	11.4	15.4	14.0	11.2
ア					
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
報酬	14,291千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
職員手当等	2,850千円		県支出金	千円	6,636	6,527	8,158	9,240
報償費	2,095千円		地方債	千円				
旅費	786千円		その他	千円	10,334	64	14,459	16,872
備品購入費	2,595千円		一般財源	千円		12,351		
計	22,617千円		事業費計	千円	16,970	18,942	22,617	26,112

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	教員の負担軽減になっている。 図書館の図書の更新・増書が行われている。 学校司書配置校を1日5時間から6時間とし、年間200時間増を図った。
② 事業実施するうえでの課題	小学校では、学校図書館を全教科を通じて利用される傾向がある一方で、中学校は大半の利用が国語科・社会科に偏っている状況がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	学校司書配置校を増やすまたは学校図書館支援員配置校の配置時間数の増加を図る。